

ふくおか FUKUOKA 市政だより

令和8(2026)年
4/15
No.1798

令和8年度予算 成長の果実をあなたの暮らしへ

一般会計 合計1兆1,318億円
＜歳出の内訳＞

子どもの育成や教育に

31.0%



3,512 億円

地域経済の発展に

15.6%



1,761 億円

地域活動・文化・スポーツに

3.5%

401 億円



清潔なまちに

3.2%

361 億円



公園整備や緑の保全に

1.7%

190 億円



保健・医療・福祉に

23.4%



2,646 億円

行政の運営に

6.9%

776 億円



地下鉄・水道事業の支援に

1.5%

165 億円



災害に強いまちに

4.5%

510 億円



農林水産業の振興に

0.9%

106 億円



※予算額には、各事業の財源として過去に発行した市債の返済額が含まれています。各項目で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

■問い合わせ先／財政調整課 ☎711-4166 733-5586

今号の主な内容

特集 令和8年度予算 成長の果実をあなたの暮らしへ 1~3

- 市内間での引っ越しを応援します 4
- 大学生の海外留学を応援します 5
- 福岡市の姉妹都市 6
- 情報BOX 7~14
- 区版 15~16

本紙掲載の情報は3月31日時点のものです。

人口 1,671,623人 (前月比433人減)
男=789,124人/女=882,499人

面積 343.47km²

世帯数 905,468世帯 (前月比331世帯減)
※人口と世帯数は令和8年3月1日現在推計

ダムの貯水率 37.36%
(3月31日現在)

- 市役所代表電話 ☎711-4111 (市外局番は092)
- 市政に関するご意見・要望・相談 広聴課 ☎711-4067 733-5580
- 福岡市政だよりの配布 毎日メディアサービス ☎0120-359-303

市長からのメッセージ

令和8年度予算のテーマは、「成長の果実をあなたの暮らしへ」です。都市の成長により増加した税収(果実)を、市民生活に密着した分野に活用していきます。

子育て世帯への転居費用の助成や学校給食の質の向上、高齢者の健康づくりの後押しなど、子どもや高齢者への支援を充実させます。また、SNSで人権侵害を受けた人へのサポート体制の構築、公園・道路環境の整備などを進め、安心して快適なまちを目指します。

市はこれからも、市民の皆さんが住み続けたと思えるようなまちづくりを進めていきます。

福岡市長 高島宗一郎



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、持続可能な社会の実現を目指す17の国際目標です。福岡市は、SDGsの達成に向けたさまざまな取り組みを進めています。



令和8年度予算

成長の果実をあなたの暮らしへ

福岡市の今年度の税収入は4200億円で、過去最高となる見込みです。人口増加や経済活動の拡大などがもたらした都市の成長の果実(税収)を、市民の皆さんの生活に還元していきます。

次世代を育み、誰もが元気に暮らすまち

●子育て世帯の転居にかかる費用を助成

「福岡市に住み続けたい」という子育て世帯を応援するため、市内間で転居する際の住宅購入費や家賃、引っ越し費用等を助成します。また、三世代で同居・近居するための住み替えについても同様の助成を行います。4面参照。

●子どもプラザを増設

市内14カ所にある子どもプラザII右下写真IIは、乳幼児の親子が気軽に利用できる遊び場です。子育てに役立つ情報提供や



子育てを社会で支えます

医療的ケア児への支援の充実

医療的ケア児がいる家庭では、家族が日常的に看護や介護を担っています。一日を通して、子どもの呼吸の状態や体調を確認し、必要に応じて投薬や痰(たん)の吸引などのケアを行います。通園・通学時にはその日の状態を学校や保育所に伝え、日中も急な体調変化に備えて常に連絡を取りやすい状態にしています。

こうした家族の負担を軽減し、休息が取れるよう、訪問看護の利用時間を年48時間から104時間に拡充します。修学旅行等の宿泊行事に訪問看護師が同行する際の費用(旅費や報酬、保険料等)を全額負担します。

また、看護師が常駐する保育所等を7カ所から10カ所に拡大し、運営費等を支援することで、医療的ケア児や重度障がい児が安心して通える環境を整えます。



城南区子どもプラザ

を活用し、子どもプラザを新たに3カ所オープンします。

●乳幼児の一時的な預かりを利用しやすく

乳幼児の一時預かりやベビースイッチャーへの需要が急増し、予約が取りづらい状況になっています。必要な時に利用できるよう、サービスを提供する事業者への補助を拡大し、参画する事業者を増やします。この取り組みを通して子育て世帯のリフレシユや急な用事、働き方の多様化などに対応していきます。

●給食の品数を増加へ

令和10年度までに、全ての市



給食では、季節の行事食や世界の料理なども提供

立小学校の給食室に「焼く」「蒸す」等の調理機能を備えたオーブンや、真空冷却機を整備します。これにより品数が増え、夏場でもサラダやあえ物の提供が可能になり、献立が充実します。

●教員の働き方改革を推進

教員の業務は、連絡業務や課外活動、保護者対応など複雑・多様化しています。教員の負担が特に大きくなっている小学校20校に、国の基準を超える人数の教員を市独自に配置し、授業の準備等の時間を確保できるように支援します。

●高齢者の健康づくりの取り組みを強化

より分かりやすくなった「市フレイル予防応援サイト」や公式LINE「ゆるっと健康部」でフレイル(加齢による心身の虚弱)の予防に関する情報を発信します。また、大学病院と共同開発した運動プログラムの普及などにも取り組みます。



福岡100プラザでは、さまざまな講座を開講

●高齢者向けシェアハウスのモデル運用開始

市営住宅を活用して、高齢者が共同で生活するシェアハウスのモデル運用を開始します。複人数が住むことで家賃の負担が減り、孤立することなく安心して暮らせます。今年度は、博多区の千代六丁目西住宅で運用を行い、入居のニーズ等を検証します。

●福岡100プラザを整備

趣味やボランティア、仕事など、シニアの皆さんの「やってみたい」を応援する「福岡100プラザ」をリニューアルしています。昨年度リニューアルした博多区、西区に続き、東

鴻臚館の東門を復元



復元イメージ図

舞鶴公園(中央区城内)には、7~11世紀にかけて日本の外交や交易の拠点施設として設置された鴻臚館(こうろかん)の遺構が残されています。京都や大阪にもあったとされていますが、実際に遺構が発見されているのは、ここ福岡だけです。

市は、鴻臚館の正門に当たる東門の復元を進めています。来年3月には、出土品などを展示する「鴻臚館跡展示館」もリニューアルします。

●市生活自立支援センターの分室を全区に開設

経済的に困っている人が身近な場所で相談できるよう、全区に生活自立支援センターの分室を開設しました。「仕事が見つからない」「収入が減って家賃が払えない」などの困り事に専門の相談支援員が応じ、関係機関と連携しながら支援します。

●SNS等による人権侵害の被害救済を支援

SNS等による誹謗中傷(いび)が大きな社会問題になっています。万一、市民の皆さんが被害に遭っても迅速に対応できるよう、チャット(対話)形式で相談を受け付け、状況を整理した上で適切な対処法を伝えます(24時間対応)。必要に応じて、投稿の削除依頼などの手続き支援や、弁護士による無料相談のサポートも受けることができます。

安全で快適に暮らせるまち

● クリーンで快適な公園へ

公園のトイレを令和12年度までに洋式にします。また、トイレの清掃の頻度を増やします。

● インクルーシブな子ども広場を整備

年齢や性格、障がいの有無などにかかわらず、誰もが安心して自分らしく遊ぶことができる「子ども広場」を整備しています。夏にアイランドシティ中央公園(東区)、かもめ広場(中央区)にオープンし、全区で整備が完了します。

● 防犯カメラの維持管理費の補助を開始

地域では、市の補助制度を活用するなどして、防犯カメラを設置しています。従来は、設置費に限っていた補助の対象を維持管理費(電気料金、保守・点検費等)にも広げ、地域の安全・安心



インクルーシブな子ども広場(博多区・東平尾公園)

を守ります。

● 安全で快適な道路環境へ

道路整備の予算を大幅に拡大し、道路環境を整えます。交通量の多い幹線道路などを重点的に巡回し、薄くなつて見えなくなった車線分離線等の区画線を引き直します。また、人の往来が多い歩道を調査し、がたつきを解消します。

● 市地下鉄の増便と終電の延長

地下鉄全線で金曜日のみ実施していた終電時間の延長を、4月から月々土曜日に拡大します。また、七隈線の混雑緩和に向け、新たに車両を導入し、便数を増やします。

● 建築物等の耐震化に係る費用を補助

市は、昭和56(1981)年5月31日以前の耐震基準で建てられた建築物を対象に、耐震診断や耐震改修等への補助を行っています。耐震診断については、補助対象を用途や規模にかかわらず、全ての建築物に広げます。

また、道路に面したブロック塀等(高さ1.5m以上の除去工事費用の補助率と上限額を引き上げます)9面参照。

● 老朽化した配水管の更新

平成29年度から進めてきた、漏水リスクの高い老朽化した配水管(323キロ)を、地震に強



配水管の敷設工事

い耐震管に更新する工事が今年度完了します。これにより、災害時にも安定して水が供給できるようになります。

● 豪雨時の浸水対策を推進

過去に浸水被害の大きかった地区を対象に、令和元年度から進めてきた「雨水整備D.O.プラン2026」が今年度で完了します。雨水管や側溝等が整備され、浸水被害のリスクが軽減されます。

引き続き、気候変動の影響などを踏まえ、新たな雨水整備計画の策定にも取り組まします。

今年度の予算を解説

市広報戦略室インスタグラムで、今年度の予算について、分かりやすく解説した動画を配信しています=写真。ぜひご覧ください。



スマホはこちらから

福岡市債の発行月が決定しました

令和8年度の福岡市債の発行月は、下表の通りです。利率は、発行月の上旬に決定します。利率の決定日や取扱金融機関などは、事前に市政だよりでお知らせします。

また、市ホームページ(「福岡市債」で検索)でも発行計画や申し込み方法を詳しく案内しています。問い合わせは、総務資金課(☎711-4592 F733-5586)へ。

● 令和8年度発行予定

発行月	満期	発行額
6月	5年	50億円
10月	10年	50億円
12月	5年	100億円
来年3月	10年	100億円

※途中で売却する場合は、金利上昇による債券価格の下落等により投資元本を割り込むことがあります。

※市債の発行月・発行額は変更になる場合があります。

ふくおかしの家計簿

「ふくおかしの家計簿」=写真=は、市の予算や財政状況、財政運営の取り組みなどを、イラストやグラフ等を用いて分かりやすく説明したパンフレットです。

令和8年度版を5月から情報プラザ(市役所1階)や各区役所情報コーナーで配布するほか、市ホームページ(「ふくおかしの家計簿」で検索)にも掲載します。

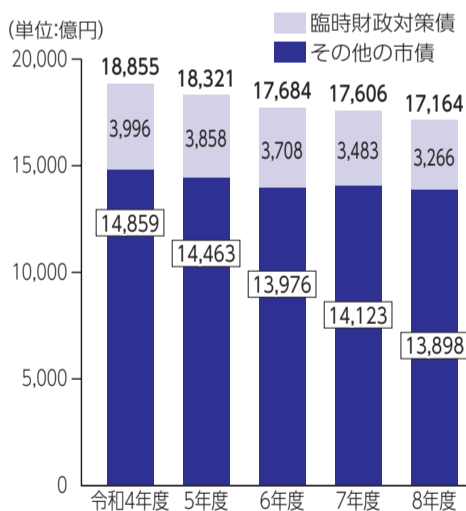
問い合わせは、財政調整課(☎711-4166 F733-5586)へ。



令和7年度版

● 市債残高の推移(全会計)

ピーク時(平成16年度)は
2兆5,115億円
(▲1兆1,217億円)



※令和6年度までは決算ベース、令和7年度は2月補正後(繰越明許費の反映なし)、令和8年度は当初予算ベース
※満期一括積立金を除く

市債残高は着実に減少しています

● 市債を発行する理由

道路・公園・学校など長期間使用される公共施設を整備する際に、その費用を今年度の予算

負担してもらうため、市債を発行しています。

● 市債発行額

令和8年度の市債発行額(一般会計)は531億円の見込みです。7年度の当初予算と比較すると14億円減少しました。令和8年度末の満期一括積立

金を除く全会計ベースの市債残高は、前年度から442億円の1兆7164億円です。さらに、臨時財政対策債の残高見込み額を除いた市債残高は、ピーク時の平成16年度末から1兆1217億円減少し、1兆3898億円になりました。これにより、市民1人当たりの市債残高見込み額は、昨年度をさらに下回る約86万円、平成16年度末の半分以下になりました。

市は、民間の力と規制緩和を活用し、税金だけに頼ることなく、まちづくりを進めています。将来の世代に過度な負担を残すことのないよう、今後も必要性を考慮しながら効果の高い事業を厳選し、市債残高の縮減に努めていきます。



福岡のサッカーチームを応援しよう!

4月後半のアビスパ福岡のホームゲームは、29日(水・祝)午後2時 サンフレッチェ広島戦です。所ベスト電器スタジアム(博多区東平尾公園二丁目)